

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【公開番号】特開2013-77107(P2013-77107A)

【公開日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-020

【出願番号】特願2011-215973(P2011-215973)

【国際特許分類】

G 06 Q 30/06 (2012.01)

【F I】

G 06 F 17/60 3 1 0 E

G 06 F 17/60 3 3 6

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月15日(2014.1.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

仮想商店街で取引される取引対象に対して所定の行為を行うための第1表示要素を選択する操作がユーザによりされた場合、取引対象に関する情報への参照を保持する参照リストに登録された取引対象を示す参照リスト情報を記憶する記憶手段に記憶された前記ユーザの前記参照リスト情報に基づいて、前記参照リストに登録された取引対象の中から前記操作の対象とされた取引対象に関する取引対象を、前記参照リストからの削除候補として選定する選定手段と、

前記選定手段により選定された前記削除候補と、該削除候補を前記参照リストから削除するための第2表示要素とを表示させる制御手段と、

前記ユーザにより前記第2表示要素を選択する操作がされた場合、操作された前記第2表示要素に対応する前記削除候補を前記参照リストから削除する削除手段と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

請求項1に記載の情報処理装置において、

前記記憶手段には、前記参照リスト情報として、前記ユーザの要求に応じて検索された取引対象の中から前記参照リストに登録された取引対象を示す情報と、該取引対象を検索するために前記ユーザにより指定された検索条件とが対応付けて記憶されており、

前記選定手段は、検索するために指定された検索条件が前記操作の対象とされた取引対象と一致する取引対象を前記削除候補として選定することを特徴とする情報処理装置。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の情報処理装置において、

前記選定手段は、取引対象の複数の区分のうち前記操作の対象とされた取引対象と同じ区分に属する取引対象を前記削除候補として選定することを特徴とする情報処理装置。

【請求項4】

請求項1乃至3の何れか1項に記載の情報処理装置において、

前記選定手段は、取引対象の属性に応じて該取引対象が利用される段階が異なるように定められた物事の過程において、前記操作の対象とされた取引対象が利用される段階よりも前の段階で利用される取引対象を前記削除候補として選定することを特徴とする情報処

理装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の情報処理装置において、

前記記憶手段には、前記参照リスト情報として、前記参照リストに登録された取引対象を示す情報と、該取引対象の前記参照リストへの登録時期とが対応付けて記憶されており、

前記選定手段は、前記参照リストへの登録時期が前記操作の対象とされた取引対象と同時期である取引対象を前記削除候補として選定することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の情報処理装置において、

前記選定手段は、前記ユーザによる取引対象に関する取引対象情報の閲覧時期と、該取引対象情報が閲覧された取引対象を示す情報を対応付けて履歴として記憶する履歴記憶手段に記憶された前記履歴に基づいて、前記取引対象情報の閲覧時期が前記操作の対象とされた取引対象と同時期である取引対象を前記削除候補として選定することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の情報処理装置において、

前記選定手段は、前記操作の対象とされた取引対象の利用時期であると定められた季節よりも前の季節が利用時期であると定められた取引対象を前記削除候補として選定することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載の情報処理装置において、

前記選定手段は、前記操作の対象とされた取引対象との関連性を示す取引対象の属性に応じて複数定められる属性範囲ごとに、前記参照リストに登録された取引対象のうち該属性範囲に含まれる取引対象の中から前記操作の対象とされた取引対象に関連する取引対象を前記削除候補として選定し、

前記制御手段は、前記選定手段により選定された前記削除候補を前記属性範囲ごとに提示させることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 9】

情報処理装置により実行される情報処理方法であって、

仮想商店街で取引される取引対象に対して所定の行為を行うための第 1 表示要素を選択する操作がユーザによりされた場合、取引対象に関する情報への参照を保持する参照リストに登録された取引対象を示す参照リスト情報を記憶する記憶手段に記憶された前記ユーザの前記参照リスト情報に基づいて、前記参照リストに登録された取引対象の中から前記操作の対象とされた取引対象に関連する取引対象を、前記参照リストからの削除候補として選定する選定ステップと、

前記選定ステップにおいて選定された前記削除候補と、該削除候補を前記参照リストから削除するための第 2 表示要素とを表示させる制御ステップと、

前記ユーザにより前記第 2 表示要素を選択する操作がされた場合、操作された前記第 2 表示要素に対応する前記削除候補を前記参照リストから削除する削除ステップと、

を含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 10】

情報処理装置に含まれるコンピュータを、

仮想商店街で取引される取引対象に対して所定の行為を行うための第 1 表示要素を選択する操作がユーザによりされた場合、取引対象に関する情報への参照を保持する参照リストに登録された取引対象を示す参照リスト情報を記憶する記憶手段に記憶された前記ユーザの前記参照リスト情報に基づいて、前記参照リストに登録された取引対象の中から前記操作の対象とされた取引対象に関連する取引対象を、前記参照リストからの削除候補として選定する選定手段、

前記選定手段により選定された前記削除候補と、該削除候補を前記参照リストから削除

するための第2表示要素とを表示させる制御手段、及び、

前記ユーザにより前記第2表示要素を選択する操作がされた場合、操作された前記第2表示要素に対応する前記削除候補を前記参照リストから削除する削除手段、

として機能させることを特徴とする情報処理プログラム。

【請求項11】

情報処理装置に含まれるコンピュータを、

仮想商店街で取引される取引対象に対して所定の行為を行うための第1表示要素を選択する操作がユーザによりされた場合、取引対象に関する情報への参照を保持する参照リストに登録された取引対象を示す参照リスト情報を記憶する記憶手段に記憶された前記ユーザの前記参照リスト情報に基づいて、前記参照リストに登録された取引対象の中から前記操作の対象とされた取引対象に関連する取引対象を、前記参照リストからの削除候補として選定する選定手段、

前記選定手段により選定された前記削除候補と、該削除候補を前記参照リストから削除するための第2表示要素とを表示させる制御手段、及び、

前記ユーザにより前記第2表示要素を選択する操作がされた場合、操作された前記第2表示要素に対応する前記削除候補を前記参照リストから削除する削除手段、

として機能させる情報処理プログラムがコンピュータ読み取り可能に記録されていることを特徴とする記録媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、請求項1に記載の発明は、仮想商店街で取引される取引対象に対して所定の行為を行うための第1表示要素を選択する操作がユーザによりされた場合、取引対象に関する情報への参照を保持する参照リストに登録された取引対象を示す参照リスト情報を記憶する記憶手段に記憶された前記ユーザの前記参照リスト情報に基づいて、前記参照リストに登録された取引対象の中から前記操作の対象とされた取引対象に関連する取引対象を、前記参照リストからの削除候補として選定する選定手段と、前記選定手段により選定された前記削除候補と、該削除候補を前記参照リストから削除するための第2表示要素とを表示させる制御手段と、前記ユーザにより前記第2表示要素を選択する操作がされた場合、操作された前記第2表示要素に対応する前記削除候補を前記参照リストから削除する削除手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

請求項8に記載の発明は請求項1乃至7の何れか1項に記載の情報処理装置において、前記選定手段は、前記操作の対象とされた取引対象との関連性を示す取引対象の属性に応じて複数定められる属性範囲ごとに、前記参照リストに登録された取引対象のうち該属性範囲に含まれる取引対象の中から前記操作の対象とされた取引対象に関連する取引対象を前記削除候補として選定し、前記制御手段は、前記選定手段により選定された前記削除候補を前記属性範囲ごとに提示させることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0024】**

請求項9に記載の発明は、情報処理装置により実行される情報処理方法であって、仮想商店街で取引される取引対象に対して所定の行為を行うための第1表示要素を選択する操作がユーザによりされた場合、取引対象に関する情報への参照を保持する参照リストに登録された取引対象を示す参照リスト情報を記憶する記憶手段に記憶された前記ユーザの前記参照リスト情報に基づいて、前記参照リストに登録された取引対象の中から前記操作の対象とされた取引対象に関連する取引対象を、前記参照リストからの削除候補として選定する選定ステップと、前記選定ステップにおいて選定された前記削除候補と、該削除候補を前記参照リストから削除するための第2表示要素とを表示させる制御ステップと、前記ユーザにより前記第2表示要素を選択する操作がされた場合、操作された前記第2表示要素に対応する前記削除候補を前記参照リストから削除する削除ステップと、を含むことを特徴とする。

【手続補正5】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0025****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0025】**

請求項10に記載の発明は、情報処理装置に含まれるコンピュータを、仮想商店街で取引される取引対象に対して所定の行為を行うための第1表示要素を選択する操作がユーザによりされた場合、取引対象に関する情報への参照を保持する参照リストに登録された取引対象を示す参照リスト情報を記憶する記憶手段に記憶された前記ユーザの前記参照リスト情報に基づいて、前記参照リストに登録された取引対象の中から前記操作の対象とされた取引対象に関連する取引対象を、前記参照リストからの削除候補として選定する選定手段、前記選定手段により選定された前記削除候補と、該削除候補を前記参照リストから削除するための第2表示要素とを表示させる制御手段、及び、前記ユーザにより前記第2表示要素を選択する操作がされた場合、操作された前記第2表示要素に対応する前記削除候補を前記参照リストから削除する削除手段、として機能させることを特徴とする。

【手続補正6】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0026****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0026】**

請求項11に記載の発明は、情報処理装置に含まれるコンピュータを、仮想商店街で取引される取引対象に対して所定の行為を行うための第1表示要素を選択する操作がユーザによりされた場合、取引対象に関する情報への参照を保持する参照リストに登録された取引対象を示す参照リスト情報を記憶する記憶手段に記憶された前記ユーザの前記参照リスト情報に基づいて、前記参照リストに登録された取引対象の中から前記操作の対象とされた取引対象に関連する取引対象を、前記参照リストからの削除候補として選定する選定手段、前記選定手段により選定された前記削除候補と、該削除候補を前記参照リストから削除するための第2表示要素とを表示させる制御手段、及び、前記ユーザにより前記第2表示要素を選択する操作がされた場合、操作された前記第2表示要素に対応する前記削除候補を前記参照リストから削除する削除手段、として機能させる情報処理プログラムがコンピュータ読み取り可能に記録されていることを特徴とする。

【手続補正7】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0051****【補正方法】変更**

【補正の内容】**【0051】**

そこで、商品が分類されている最下位のジャンルよりも1つ以上、上位のレベルにあるジャンル、すなわち先祖のジャンルで、関連する商品を判定されるようにしてもよい。例えば、上述の例では、操作対象の商品が属するレベル4のジャンルと、お気に入りに登録されている商品が属するレベル4のジャンルとで、同一のジャンルに属するか否かを判定すると、扇風機の商品も冷風機の商品も「季節家電」に属することになる。従って、扇風機の商品について商品選択関連操作がされた場合、扇風機の商品も冷風機の商品も削除候補として提示される。